

新型コロナ対策で毎日緊張が続く保育現場の皆さん、マスクにソーシャルディスタンスなどと、人と人のつながりが難しい今こそ、『ちいさいなかま』を介してつながりましょう。読者のページ15頁「コロナウイルス禍で見えること」は、福祉としての保育を考えるきっかけになる投稿です。これまでの日常の保育と生活を振り返り、今、これから何が必要か、自分たちでできること、国や自治体に支援してほしいことを考えあいましょう。そして、コロナ後のよりよい保育・子育てを展望しましょう。そのために『ちいさいなかま』を活用しましょう。

★小特集：コロナウイルス対策 保育現場では？(40頁)

4月10日現在で、各地の保育園長さんの報告です。皆さんの保育園での対策・自治体の対応で皆さんに紹介したらと思われることや、保育現場の大変さを是非ともお知らせください。FAX・メールでお願いします。

★7月号の特集は、運動会って、どんな場？

コロナ禍の今、子どもたちが主人公の運動会をあらためて考えあいましょう。

◎実践：わかば保育園（岩手県盛岡市）(22頁)では、自己肯定感が低く人間関係を築きにくい子どもたちが安心して過ごせる場づくりをつくり、クラス活動では、「楽しい」「うれしい」の成功体験を増やしていき、子どもにとって大きな自信となった運動会が報告されています。アトム共同保育園（大阪府熊取町）(27頁)では、クラス懇談会で「運動会に向けての子どもたちのようす」をテーマに、自分の子育てにおける悩みなどを出しあいながら話しあうなかで、ともすると、おとなが子どもたちに「みんなといっしょ」であることばかりを求めているか気づいた事例が報告されています。

◎小論(32頁)：塩崎美穂（東洋英和女学院大学）さんは、「運動会とはかくあるべし」という考えを捨てることから、幼児主体の運動会が始まる」ことをふまえて、運動会の歴史的経緯をさぐっています。塩崎さんは、コロナ禍によって「つながり」が変容しているいま、これからの「運動会」のあり方が問われていると。

◎連載：沖縄の子ども食堂から④(54頁) 地域の子どもたちが安心できる空間として子ども食堂があり、おとなは「そこにいる」ことが必要だと。

◎連載：もっと気楽に家事・子育て④(60頁) しなければならない家事とは？わが家の家事のルールを見つけるヒントになります。ワンオペ子育て、ワンオペ家事とならないために、ご夫婦で一緒に考えあいましょう。

◎連載：おばちゃん、保育園であそぶ④(64 頁) 登園した子どもたちがパパやママにバイバイしようとしたとたんの大泣き時の様子です。登園自粛が解除になった時の保育園の朝の様子が想像できます。

◎連載：2歳児の発達と保育④(80 頁) 2歳児は語彙爆発期と呼ばれる時期です。記憶力が育ち、ことばによって人とコミュニケーションをとること自体が楽しくなってくる2歳児の発達の特徴が書かれています。

◎連載：保育、こんなときどうする？どう考える？②(88 頁) 子どもがウソをついたとき あなたはどうする？どう考える？(88 頁)。「ウソを問い詰めるのではなく、もっと安心して本当の気持ちを言えるような関係を作っていくための糸口にしていくことが大切なのではないのでしょうか」と。

◆わたしの保育実践ノートNo.328(70 頁) 子どもたちのアイデアを保育所・保護者・地域が連携して、野菜作りからカレーパーティへ。楽しい実践です。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ずっとずっと続く 子どもの未来！未来のこども！

…Tシャツをデザインした荒井良二さんからのメッセージ

福島合研の準備経費をまかない、来年につなぐために
合研Tシャツを買ってください

◎おとな…サイズはS・M・L・LL

白1,900円 きいろ2,000円

◎こども…サイズは100・110・120・130 cm

白1,600円 きいろ1,700円

※10枚以上購入の場合、割引で頒布します。



九州の保育園でのからだあそびを大紹介

『からだあそび 145 選』

九州合研常任委員会編集 (かもがわ出版)

★定価3,000円+税を、

保育センター会員と『ちいさいなかま』読者は特別価格で頒布します

Tシャツと本の申込みは保育センターへ FAX092-781-1995

Eメール:center5234@rose.plala.or.jp